

すことと上4層撤去されて1階建てになってしまいました。ここが集会所というかコミュニティ施設になっています。こちらの方はNPOの住宅管理会社などが入ってたりしています。

それから、これは古い体育館があったんですけども、それをちょっとしたコンサート、あるいはダンス等もできるようなホールにしています。その入り口脇ここはもともと何もなく、ここから向こうに人が入っていく動線があります。この向こう側の両側に商店が並んでいるんですが、元体育館の入り口脇にゲートのような屋根を設けて、ここが入り口だよというふうなことを明示しているわけです。

## 社会施設 セミナーハウス(ゼロエネルギーハウス)



これは、もとあった、左上の写真のような、何の変哲もない建物が、現在、こういう状態になってまして、ここは太陽電池や何かを使ったゼロエネルギーハウスとして、中はオフィスとかセミナーができるような会場になっています。高齢者の住宅もこういうふうに古

い建築物を新しく整備し直しました。

これは左上写真のようにもともと壁パネルを使った学校があったんです。それを職業訓練学校に、改修しています。それから新たにベンチャー企業のセンターみたいなものを設けたり、新しく体育館、青少年センター、こういったものを、今まで東独時代には整備されていなかったものをどんどん整備しています。特に青少年センターは、中の状況を見ていただくとよくわかるんですが、内部の壁の色を塗ったり絵をかいたりするのを、住民たちと一緒にやってるんですね。そうすることによって、これは自分たちの施設だよということをうまく住民に伝えるというふうなことが行われています。

それからインフラの整備がなされました。ここが南団地の部分です。これがもともとあった2,500人の村ですね、駅はここにありますが、高速道路がここに通っておりますが、ここからバイパスを引きまして、うまく広域交通にぶら下がるようになりました。

これが工場です。この辺にも工場があります。こういうところの製品を、もともと鉄道がしかれていて、鉄道輸送だったんですが、自動車交通にも対応できるように、こういうバイパスがつくられた。団地内の道路も、この写真は団地内なんですが、もともと、こういうふうな舗装もされていない道だったものを、こういうきれいな道にした、あるいはこの道路にこういうロータリーをつくったりとか、いろいろな整備がなされています。